

問1 かつての植民地支配を受けた地域では、特定の農作物を大規模に栽培し、輸出に依存する産業構造が見られます。このような経済状況の背景と特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。(2020年 滋賀公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 宗主国での消費や世界市場への輸出を目的として、コーヒーやカカオなどの商品作物を中心に生産する体制が築かれた。 | 2. 現地の自給自足を最優先にするため、主食となる穀物と輸出用の作物をバランスよく組み合わせて生産する体制が築かれた。 | 3. 植民地支配から独立した後、急速な工業化を推し進めるために農地をすべて廃止し、製造業へ特化する政策がとられた。 | 4. 古くから伝わる伝統的な農法を守るため、外部からの新しい作物や技術を一切取り入れずに生産を続ける体制が築かれた。 |
|---|---|---|--|

問2 滑車や斜面などの道具を使用する場合と、道具を使用せずに直接物体を持ち上げる場合とで、仕事の大きさがどのようになるかを説明した法則を何と呼びますか。(2021年 滋賀公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|-----------|---------------|----------|
| 1. 仕事の効率 | 2. 仕事率の法則 | 3. エネルギー保存の法則 | 4. 仕事の原理 |
|----------|-----------|---------------|----------|

問3 ある自治体の環境基本方針に関する資料において、マイバグの活用や環境ラベルの確認など、消費者が主体的に環境保全に貢献するための具体的な取り組みが紹介されています。このような活動を推進する目的として最も適切な説明はどれですか。(2024年 滋賀公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 消費者の商品選択を通じて企業に環境配慮を促し、循環型社会を実現するため | 2. 安価な商品を大量に購入することを推奨し、企業の生産活動を活性化させるため | 3. 特定の国内ブランドのみを優遇し、国際的な価格競争から国内産業を保護するため | 4. 商品のリサイクル費用をすべて消費者が負担することで、自治体の財政負担を減らすため |
|--|---|--|---|

問4 インターネット上のSNSなどで、自分の作品や意見を自由に発信できるという利便性がある一方で、他人の私生活に関する情報を本人の同意なく掲載すると、ある権利を侵害することになります。この権利の性質として最も適切な説明を選びなさい。(2017年 滋賀公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 個人の私生活を守るために、自分の情報を他人に勝手に公開させないよう主張できる権利 | 2. 国や地方公共団体が持っている公的な情報を、国民が手に入れることができる権利 | 3. 著作物を作成した者が、その作品から生じる利益を独占的に受け取ることができる権利 | 4. 自分の考えや思想を、干渉を受けることなく外部に対して自由に表明できる権利 |
|---|--|--|---|

問5 明治時代後半の貿易において、1880年代から国内生産が急伸し、1897年には輸出量が輸入量を上回ることとなった品目と、それを生産した工業分野の組み合わせとして正しいものはどれですか。(2017年 滋賀公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------|---------------|---------------|----------------|
| 1. 綿糸を生産する紡績業 | 2. 生糸を生産する製糸業 | 3. 鋼材を生産する鉄鋼業 | 4. 綿織物を生産する織物業 |
|---------------|---------------|---------------|----------------|

問6 1918年に富山県で発生した米騒動が全国に広がり、当時の寺内正毅内閣が退陣した後、成立した内閣について説明した文として最も適切なものはどれですか。(2019年 滋賀公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 衆議院で多数を占める立憲政友会の総裁であった原敬が、閣僚の多くを自党の党員で固めて組織した。 | 2. 軍部の有力者が中心となり、政党の影響を排除して国民の不満を力で抑え込むために組織された。 | 3. 板垣退助が自由党の党員を集めて、日本で初めての本格的な政党内閣を組織した。 | 4. 特定の政党に属さない貴族院の議員たちが、公平な立場から物価を安定させるために組織した。 |
|---|---|--|--|

問7 微生物を十分に含んだ土をデンプン溶液に入れて数日間放置したところ、デンプンが消失してヨウ素液が反応しなくなり、かわりに容器内の二酸化炭素の割合が増加していた。この実験結果から導き出される、土の中の微生物のはたらきに関する考察として最も適切なものはどれか。(2019年 滋賀公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|-------------------------------------|---|
| 1. 微生物が有機物であるデンプンを分解し、無機物である二酸化炭素を放出した。 | 2. 微生物が無機物である二酸化炭素を吸収し、有機物であるデンプンを合成した。 | 3. 微生物が光のエネルギーを利用して、デンプンから酸素を作り出した。 | 4. 微生物のはたらきによってデンプンが分解されたが、放出されたのは酸素のみであった。 |
|---|---|-------------------------------------|---|

問8 日本の立法過程を説明した次の内容のうち、内閣が提出する法律案（内閣提出法案）と、法律の成立に関する説明として最も適切なものはどれですか。(2024年 滋賀公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 内閣から提出された法律案は、衆議院と参議院の両議院で審議され、可決されることで法律となる。 | 2. 内閣が提出した法律案は、国会での審議を省略して、天皇の公布によって直ちに成立する。 | 3. 内閣は予算案を提出する権限はあるが、法律案を国会に提出する権限は憲法上認められていない。 | 4. 内閣が提出した法律案が衆議院で否決された場合、最高裁判所が最終的な成立の可否を判断する。 |
|--|--|---|---|

問9 先進国が途上国に対して行う政府開発援助（ODA）において、単なる食料や物資の提供だけでなく、技術協力が重視される理由として最も適切な説明はどれですか。(2020年 滋賀公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 途上国が先進国からの援助に依存し続けることで、国際社会の勢力図を維持するため | 2. 途上国の自立を促し、現在の貧困問題を解決しつつ将来の世代も幸福に暮らせる社会を作るため | 3. 先進国の余剰な技術を途上国に売却し、先進国の経済的な利益を最大化するため | 4. 途上国の資源をすべて先進国が管理し、将来の世代が資源を使えないように制限するため |
|---|--|---|---|

問10 1860年代後半、薩摩藩や長州藩が武力による倒幕を目指す動きを強める中で、江戸幕府の第15代将軍である徳川慶喜が行った、約260年続いた江戸幕府を終わらせる契機となった行動はどれですか。(2017年 滋賀公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 1. 政権を天皇に返上する大政奉還を行った。 | 2. 土地と人民を天皇に返す版籍奉還を求めた。 | 3. 藩を廃止して県を置く廃藩置県を宣言した。 | 4. 朝廷と幕府が協力する公武合体を推進した。 |
|------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|

問11 一八五三年にペリー率いる「黒船」が浦賀に来航した際、アメリカ側が日本に対して開国を求めた主な背景や理由として、適切な説明はどれですか。(2022年 滋賀公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 太平洋での捕鯨船の保護や、中国に向かう蒸気船の燃料となる石炭・食料の補給拠点を確保するため。 | 2. 日本の良質な金や銀を安く買い入れ、アメリカ国内で深刻化していた経済恐慌を解決するため。 | 3. ロシアの南下政策に対抗するため、日本と軍事同盟を締結し、三浦半島にアメリカ海軍の基地を設けるため。 | 4. キリスト教の布教を全国で認めさせることにより、日本の封建的な社会構造をアメリカ流に近代化するため。 |
|---|--|--|--|

問12 硫酸マグネシウムのように、水に溶かしたときにその水溶液に電流を流す性質を持つ物質を何というか、最も適切な名称を選びなさい。(2023年 滋賀公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 1. 電解質 | 2. 非電解質 | 3. 有機物 | 4. 混合物 |
|--------|---------|--------|--------|

答え合わせ・解説

| | | |
|-----|--|---|
| 問1 | 答え 1 宗主国での消費や世界市場への輸出を目的として、コーヒーやカカオなどの商品作物を中心に生産する体制が築かれた。 | 植民地時代に、支配国である宗主国の需要を満たすために特定の農作物を大量に生産する仕組みが作られました。これを「モノカルチャー経済」と呼びます。独立後もこの構造から脱却できず、国際価格の変動が国の経済に大きな影響を与えるという課題を抱えている地域が多くあります。 |
| 問2 | 答え 4 仕事の原理 | 道具を使うことで、物体を動かすために必要な力の大きさを小さくすることはできますが、その分、力を加える距離を長くする必要があります。結果として、道具を使っても使わなくても、物体を持ち上げるなどの仕事の大きさは変わらないという法則が存在し、これを仕事の原理といいます。 |
| 問3 | 答え 1 消費者の商品選択を通じて企業に環境配慮を促し、循環型社会を実現するため | グリーン購入は、単にゴミを減らすだけでなく、消費者の意識的な行動によって市場全体を環境配慮型に変えていくことを目指しています。環境ラベルを参考に商品を選ぶといった行動は、企業の生産姿勢にも影響を与え、社会全体の資源循環を促進します。 |
| 問4 | 答え 1 個人の私生活を守るために、自分の情報を他人に勝手に公開させないよう主張できる権利 | 情報化社会においては、個人の写真や住所などの情報を誰でも簡単に発信できるようになったため、他人の私生活を守る意識が重要視されています。本人の許可なく個人を特定できる情報をインターネット上に公開する行為は、人格を尊重する立場から認められているこの権利の侵害にあたる可能性があります。 |
| 問5 | 答え 1 綿糸を生産する紡績業 | 1880年代に大阪紡績会社などが設立され、蒸気機関を用いた大規模な機械生産が始まったことで、綿糸の国内生産量は飛躍的に増加しました。その結果、1890年には国内生産量が輸入量を上回り、1897年には輸出量が輸入量を追い越して輸出超過となりました。これにより、日本は軽工業を中心とした産業革命を成し遂げていくこととなります。 |
| 問6 | 答え 1 衆議院で多数を占める立憲政友会の総裁であった原敬が、閣僚の多くを自党の党員で固めて組織した。 | 米騒動によって民衆の力が増大したことを背景に、国民の声を反映しやすい政治体制が求められました。そこで、議会の多数党であった立憲政友会の総裁、原敬が内閣総理大臣に任命されました。陸軍・海軍・外務の各大臣以外を自党のメンバーで構成したこの内閣は、日本で最初の本格的な政党内閣と呼ばれています。 |
| 問7 | 答え 1 微生物が有機物であるデンブンを分解し、無機物である二酸化炭素を放出した。 | 土の中に含まれる微生物（分解者）が、生命活動のエネルギーを得るために有機物であるデンブンを呼吸に利用したことがわかる。ヨウ素液の反応がなくなったことはデンブン（有機物）が消費されたことを示し、二酸化炭素の増加は分解によって無機物が生成されたことを示している。これは光合成とは逆の過程である。 |
| 問8 | 答え 1 内閣から提出された法律案は、衆議院と参議院の両議院で審議され、可決されることで法律となる。 | 内閣から提出された法律案（閣法）であっても、議員から提出された法律案であっても、日本の二院制のもとでは原則として衆議院と参議院の両方の議院で審議し、可決される必要があります。国会は「国の唯一の立法機関」であるため、内閣が作成した案であっても国会での審議と議決が不可欠です。 |
| 問9 | 答え 2 途上国の自立を促し、現在の貧困問題を解決しつつ将来の世代も幸福に暮らせる社会を作るため | 国際協力の目的は、一時的な救済だけではなく、途上国の人々が自ら産業を興し生活を改善できる「自立」を支援することにあります。これにより、現代の課題解決と、将来の世代の幸福を両立させる「持続可能な社会」の実現を目指しています。依存を生むだけの支援は、長期的な解決にはつながりません。 |
| 問10 | 答え 1 0 政権を天皇に返上する大政奉還を行った。 | 徳川慶喜は、倒幕派による武力攻撃の口実をなくすため、自ら政権を朝廷に返上しました。これにより武家政治の時代が終わり、新政府への移行が始まりましたが、徳川家は依然として政治的影響力を残そうと考えていました。 |
| 問1 | 答え 1 1 太平洋での捕鯨船の保護や、中国に向かう蒸気船の燃料となる石炭・食料の補給拠点を確保するため。 | 産業革命を経て工業化したアメリカは、海外市場として中国（清）との貿易を重視していました。当時の蒸気船は燃費が悪く、航路の途中で石炭や水、食料を補給する場所が必要不可欠でした。また、北太平洋での捕鯨活動も盛んであったため、漂流民の保護や寄港地の確保を目的として、ペリー率いる黒船来航により日本へ開国を強く迫りました。 |
| 問1 | 答え 1 2 電解質 | 物質の中には、水に溶けた際に陽イオンと陰イオンに分かれる「電離」という現象を起こすものがあります。このように、水溶液にしたときに電流を流す性質を持つ物質を電解質と呼びます。これに対し、砂糖やエタノールのように水に溶けても電流を流さない物質は非電解質と呼ばれます。 |